

## 真剣な質疑

# この地域の将来が心配

17日、高教組は、甲賀市議会の文教常任委員会に招かれて、意見陳述を行いました。県は今年度中に統廃合の計画をつくり、2012年度からは統廃合が前提の入試が行われる予定であること。県の物差しを当てると、全県で7~12校、甲賀で2校がなくなることを示しました。約15分間の説明の後、1時間にわたり熱心な質疑が続きました。2号にわたって報告します。

### 国の構造改革と関係があるのか

**委員** 事前に資料を読ませてもらったが、国の構造改革と今回の統廃合に関係があるのか。

**高教組** 大いにあると思う。滋賀の教育の構造改革の大きな一歩は全県一学区だった。序列化をすすめて学校をつぶしていく、今その段階にきた。全県一学区で、大津の膳所高校へは全県の他学区から半分近くの子どもが入っている。09年度で大津からの生徒が89人減った。草津から45人増え、湖東から30人が新しく入り、湖西から若干、湖北から行くこともある。甲賀からは7人増えただけだ。それが、いろいろな玉突きを起こして、257人が大津以外の草津、湖西、湖東などに飛び出している。この甲賀にも、大津や草津など他学区から多くの生徒が来ている。他学区からの転入率は全県一学区になる前の05年度に比べて、09年度は4.5倍、17.1%になっている。

いよいよ構造改革の本丸、大幅な統廃合の段階に踏み出そうとしているのだと思う。

### マニフェスト通り35人学級に

**委員** 統廃合で7~12学級が減らされるというが、1学級は何人で計算しているか。

**高教組** 40人学級として計算している。嘉田知事は4年前のマニフェストで、

北部西部の高校は1クラス35人に、東部南部も必要に応じて1クラス35人以下にする。マニフェスト通り35人学級にすれば学級数が増えて、統廃合の必要は全くなくなる。

### 職業教育はどうか

**委員** 普通科と職業科の比率はどうなっているのか。

**高教組** 大体7対3くらいだ。総合学科が入ってきて、その分職業科と普通科が減ったが。

**委員** この間、いろいろな学科、コースなどが入ってきたが、どんな考えなのか、どうあるべきか。

**高教組** 90年代に入って、文科省の指導で、総合学科、国際科、体育コース、音楽コースなどが入れられた。しかし、問題は、それによって子どもたちが賢くなり、人間が豊かになってきたかどうかだ。私は、そうは思わない。もう一度、何が大事なのかを、しっかり見直して教育の方向を検討すべきだと思う。総合学科でも、子どものニーズに応えるという名目はよかったが、結局力が見つからないので、いくつかの類型を決めざるを得なくなっている。

**委員** 農業や工業や商業をどう高校教育の中でどう位置づけたらいいのか。

**高教組** 座学だけでは、子どもたちは賢くならないと思うし人間も豊かにならない。

旋盤を回しながら、作物を育てながら、将来の職業に役立てることもあるが、総合的に考える力を育てていく。だから、普通科の中にも、職業教育を位置づけていくべきだ。いま、普通科志向が多く、農業科が序列化の下位におかれ、農業に就く生徒はほとんどいないが、農業教育には大事な意味がある。

(次号に続く)



## 高校統廃合はストップせよ

速報 第4号 2010/06/19 発行：滋賀高教組

(増し刷りして教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)